

平成25年度 地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 医学部看護学科 成人・精神看護学講座
氏 名 土田 幸子

活動テーマ	精神に障がいを抱えながら子育てする親と子どもへの支援
実施期間	平成25年4月1日～平成26年3月31日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <p>❖ 精神的不安定さを抱えながら子育てする親と子どもへのフォロー 実施者に寄せられる相談に応じる形で成人した子どもの立場の者6名、子育て中の母親1名に会い、生きづらさや混乱に対する対応を行ってきた。対象が混乱状況の中で見失いがちな自身の持っている力に気づかせるなど自信を持って生活できるよう働きかけた。実施者自身が幼い子どもを育てている家庭への家庭訪問することは実施できなかったが、支援者研修などを通して、保健師や訪問看護師など対象の身近に存在する支援者が訪問時に子どもにも目を配る必要性について触れ、対応してもらえるよう働きかけた。</p> <p>❖ 支援者研修の実施および学校・地域等へのフィードバック 実施者がこれまでにやってきた精神障がいの親と暮らす子ども(既成人)へのインタビューから明らかになった「精神障がいの親と暮らす子ども」の特徴等を、教員研修(8月)・精神保健福祉に関わる者への研修(2月)で伝達し、こうした状況下にある子どもへの理解を図ると共に、子どもが健全に育つ環境としてどのように関われば良いかを伝えていった。 また今年度より、学校教員・保育士、医療・保健・福祉に携わる者、民生・児童委員、地域で子育て支援に携わる者を対象に、支援者研修を実施し、精神症状の日常生活への影響、障がいを持つ親への対応、支援の繋ぎ方、子どもの特徴・対応の仕方などについて講義する支援者研修を実施した(9月・2月)。支援者研修への参加希望が多く、全ての方に参加していただくことができなかったが、参加者からも継続開催やより実践的な内容を含む研修を望む声も聞かれており、本研修の果たす役割は大きいと考える。こうした声を受け、次年度以降は講義中心の基礎講座と、アセスメントや実際の対応(ロールプレイ等)を含む実践講座の2パターンを準備して対応していきたい。</p> <p>(2) 地域への貢献(地域の発展・活性化への寄与、広がり)</p> <p>児童虐待の背景に親の抱える精神的不安の問題もあり、こうした親子への支援は、地域の身近な問題にもなっている。支援者研修を企画し、教育機関や民生・児童委員、子育て支援に携わる者を中心に広報したところ、予想を上回る参加希望があった。こうした点からもこのテーマに関するニーズは高く、本研修は、親子を支える支援者の不安軽減に繋が</p>

ったと考える。

初めはあまり関心が得られなかった教育機関関係者の参加が年々増加していることを考えると、インタビュー調査から明らかになった子どもの特徴を伝える活動が浸透してきた結果でもあると考える。

(3) 共同実施者との連携状況

共同実施者である NPO 法人『女性と子どものヘルプライン MIE』と連携し、親と子どもの絆を深める心理教育プログラム「CARE」の紹介講座を実施した。年度内に講座を複数回実施する予定であったが、日程調整等がうまくいかず、今年度はプログラムを紹介する講座を 1 回実施するのみにってしまった。より多くの方にプログラムに参加していただけるよう、開催地域等を検討しながら、次年度の開催に繋げていきたい。

精神障がいを抱える親と暮らす子どもは、自尊心が低下していることが多く、過去の生活体験がトラウマとなっていることも多い。そのため、医師・臨床心理士である白川美也子先生を講師に迎え、トラウマケアに関する研修を実施し、9 月の支援者研修参加者にも参加を呼びかけた。

(4) 大学の教育・研究成果のかかわり

支援者研修などを実施する中で、支援する者も表面に現れている現象・対応に焦点が当てられ、なぜそのような状況になっているのかといった背景を捉える視点に不足していることに気づいた。背景を見る視点・多方面からアセスメントする必要性に気づけるよう、学生に伝達し、より実践的な学生を育てていきたい。

(5) イベント等開催実績（名称，実施場所，参加人数等）

1. 支援者研修

- ・平成 25 年 9 月 29 日実施、三重大学医学部看護学科第 3 講義室、教育現場で子どもへの支援に携わる者 17 名
 - ・平成 26 年 2 月 11 日実施、四日市市勤労者・市民交流センター東館大会議室、教育機関や民生・児童委員・子育て支援に携わる者 81 名
 - ・平成 26 年 2 月 23 日実施、松阪市子ども支援研究センター体育室、教育機関や民生・児童委員・子育て支援に携わる者 68 名
- *2 月に実施した支援者研修については定員オーバーで、80 名弱の方をお断りさせていただきました。

2. 全国版子どもの集い・交流会（子どもの立場の既成人への支援）

- ・平成 25 年 8 月 31 日実施、東京医科歯科大学医学科講義室 2、精神障がいの親と暮らした経験を持つ子どもの立場の方 54 名

3. 白川美也子先生のトラウマ研修『トラウマからの回復支援のために』（共同実施者との連携事業）

- ・平成 25 年 11 月 9 日・10 日実施、三重大学医学部看護学科第 3 講義室および成人看護学実習室、トラウマを抱える者への対応に携わる者 35 名

4. CARE プログラムの紹介講座（共同実施者との連携事業）

- ・平成 26 年 2 月 9 日実施、伊賀市・陽だまり文庫、一般市民 8 名